

## 審 議 経 過

No. 1

### 1. 開会

進行：前田子育て支援課長

### 2. 辞令交付

市民部長から各委員（代表して池田委員へ交付）

市民部長あいさつ

委員及び議事関係者自己紹介

※平成30年度伊万里市子ども・子育て会議にて、発達障害の事情に精通している者の参集要請があり、伊万里市こどもハートフルセンターひまわり園児童発達支援管理責任者の阿部頼子氏に参加いただいた。

会長 副会長選任 会長 池田委員 副会長 塚本委員

### 3. 議題

第2期伊万里市子ども・子育て支援事業計画素案について

事務局

第2期伊万里市子ども・子育て支援事業計画素案について説明

議事関係者

児童発達支援について説明

（委員）

P15の第1期計画の実績において、保育事業の3号認定（1・2歳児）では、計画値（確保の内容）が597人で推移している。一方、P44の第2期計画における見込で、2020年度の3号認定（1・2歳児）の計画値が695人と約100人分増えているがその要因は何か。また695人とは利用定員のことか

（事務局）

第1期計画策定時には、まだ認可されていない施設があり量の見込みに入っていない。第1期計画策定後に認可された施設があり、第2期計画においては量の見込みに入れており、その分増加している。また695人は利用定員となる。

(委員)

P17子育て短期支援事業（ショートステイ）とは、保護者が急病となった場合、児童養護施設等で一時的に保護を行う事業のことか。また、12月に母子保健法の一部を改正する法律が施行され、産後ケア事業について市町村に実施が義務付けられた。産後ケア事業については、この計画に含めないのか。

(事務局)

産後ケア事業については、国で推奨しているが、それを受け入れる産婦人科等医療機関の受入態勢の問題もある。現時点の実態を考慮し、量の見込みについて計画では記載していないが、事業の拡充はしていきたいので、今後の医療機関との協議によっては、記載することも考えられる。

(委員)

この計画は実態に基づく計画で、今後の改善に向けての計画ではないのか。

(事務局)

担当部署である健康づくり課と医療機関で協議し、拡充できる見込みがあれば量の見込みを計画に掲載するが、医療機関と協議が整っていない部分を、実態と乖離した形で事業拡充すると見込むことはできない。

(委員)

保育園では発達障害等、気になる子どもが増えてきている。職員も様々な研修会で学んでいるが、子どもへの早くからの対応が重要である。現在伊万里市では、1歳6か月児健診、3歳8か月児健診が実施されているが、その間の期間が長いので、他の自治体では2歳児健診も実施されているようだ。伊万里市でも2歳児健診を実施してほしい。

(事務局)

1歳6か月児健診は、1歳から2歳の間で行うので、他の自治体と変わらないのではないかと。発達障害については、1歳6か月と3歳8か月健診でみているが、その他に5歳児健診を実施している自治体もあるようだが、伊万里市で5歳児健診を実施する場合、医療機関の対応が難しい状況である。5歳児わんぱく相談（年中児）では、保育園等を回らせていただき、発達障害等が気になる子の相談を受けているが、就学相談までは間があいているので、今後5歳児わんぱく相談が軌道に乗れば、将来的には5歳児健診を実施して、切れ目ない形での健診体制整備を検討したい。

#### 4. その他

事務局

今後のスケジュール、P52の新・放課後子ども総合プランについて説明

#### 5. 閉会